

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名 埋蔵文化財緊急調査費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部県民文化局 文化財保護センター 電話番号：058-237-8550

管理調整係

E-mail：c21807@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 352,352 千円 (前年度予算額： 457,590 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	457,590	0	0	0	0	0	454,800	0	2,790
要求額	352,352	0	0	0	0	0	349,891	0	2,461
決定額	352,352	0	0	0	0	0	349,891	0	2,461

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

国、県の開発事業に伴い、事業予定地内の遺跡の記録保存のため、発掘調査及び研究、出土遺物の保存・活用を行う。

(2) 事業内容

【調査遺跡】発掘3遺跡 整理4遺跡 報告書刊行6遺跡

<国事業関連>

- ・岐阜東バイパス 1遺跡(発掘)
- ・中部縦貫自動車道高山清見道路 3遺跡(整理2、報告書1)
- ・国道19号瑞浪恵那道路 2遺跡(報告書2)

<県事業関連>

- ・大垣養老公園線 2遺跡(整理1、報告書2)
- ・大垣江南線 1遺跡(発掘)
- ・岐阜美濃線 1遺跡(発掘・整理)

<ネクスコ関連>

- ・東海環状自動車道四車線化 1遺跡(報告書)

(3) 県負担・補助率の考え方

国・ネクスコ事業：受託事業(10/10) 県事業：県負担

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
発掘調査費		国関係開発事業に伴う埋蔵文化財発掘調査事業
芥見町屋遺跡	303,680	岐阜市 発掘調査
中切日焼遺跡	12,482	高山市 発掘調査
松本上野遺跡	21,333	高山市 発掘調査
中切上野遺跡	7,123	高山市 報告書
釜戸上平遺跡	1,790	瑞浪市 報告書
毘沙門遺跡	1,378	恵那市 報告書
柿田遺跡	2,105	可児市 報告書
小計	349,891	
発掘調査諸費 (県事業分)		県関係事業に伴う埋蔵文化財発掘調査諸費
明德遺跡	30	養老町 発掘調査関係諸費
白石道遺跡	171	養老町 発掘調査関係諸費
森部城跡	1,395	安八町 発掘調査関係諸費
改田遺跡	865	美濃市 発掘調査関係諸費
小計	2,461	
合計	352,352	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

発掘調査は原則として国、公団、公社及び県事業は県において、市町村事業及び民間事業は市町村によって実施する。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

埋蔵文化財発掘調査について、開発事業との適切な調整を図り、精度の高い調査・研究を円滑に実施するとともに、調査成果を県民に還元する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

開発事業に係る業務であり、定量的な指標で表すことが困難であるため。

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	<ul style="list-style-type: none"> 発掘作業及び整理等作業 9 遺跡、報告書刊行 8 遺跡 県民に向けて展示等で成果を発表し、出前授業等の普及活動に活かすことができた。
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和 3 年度	<ul style="list-style-type: none"> 発掘作業及び整理等作業 10 遺跡、報告書刊行 3 遺跡 県民に向けて展示等で成果を発表し、出前授業等の普及活動に活かすことができた。
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和 4 年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 2	国や県の開発事業に伴って、埋蔵文化財の記録保存を行うために必要な事業である。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	国や県の開発事業との調整を図り、計画的に発掘調査事業を完遂している。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価) 2	発掘作業や整理等作業の方法・技術についての手引き書を作成したり、作業の一部を外部委託したりすることにより、発掘調査の効率化を図っている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 国・県の開発事業計画に併せて、円滑に発掘調査を実施していく必要がある。また、発掘調査によって得られた文化財は、「清流の国ぎふ」の歴史を物語る実物資料として、学校・家庭・地域教育においてさらに積極的に活用する必要がある。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 国・県の開発事業は今後も計画されており、埋蔵文化財発掘調査を継続して確実に実施しなければならない。そのため、随時、開発事業者と調整を図り、中長期的な計画のもとで発掘調査を適切に実施する必要がある。また、発掘調査成果の普及活用に対する県民ニーズに応えるため、埋蔵文化財の普及活用事業を最大限に実施する。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	